

「情報空間と身体表現」第三回、第四回 資料

安田登（下掛宝生流：能楽師）

今日のテーマ

- 【1】皆さんのことをお聞きします
- 【2】脳内AR空間としての六義園
- 【3】古典ギリシャ語への扉01

【1】皆さんのことをお聞きします

- ・Unityをどのくらい操作できるか
※現時点ではまったく触ったことがなくても問題ありません
- ・3Dソフトをどのくらい操作できるか
※同上
- ・プログラミングに関しての得手不得手感
- ・興味のある分野、得意な分野
- ・何をしたいか
- ・未来についてどう考えているか、感じているか

【2】脳内AR空間としての六義園

- ・脳内ARとは
 - ・日本の庭園について
※関西の庭園をどのくらい知っているか。好きな庭園はあるか。
 - ・和歌の庭園、大名庭園としての六義園
※和歌の浦について
 - ・六義園の基本的な楽しみ方
 - 1) 石柱（八十八→現在確認し得るものは十六）を見つける
 - 2) その石柱に関連する和歌などが浮かぶ（浮かべる）
 - 3) すると脳内ARが発動し（発動させ）、
現実の景色に脳内の景色が重なったり（重ねたり）、
※音が聞こえたり、香りがしたり、
皮膚で何かを感じたり等々…
能の謡が出てきたり（思い出したり）、
和歌が浮かんだり（作ったり）する
- ※和歌を作る
俳句を作る

・道に志し、徳に拠り、仁に依り（志於道、拠於徳、依仁）芸に遊ぶ（遊於芸）

・芸に遊ぶ：六芸（礼、楽、射、御、書、数）

リベラル・アーツ（文法学・修辞学・論理学：算術・幾何・天文学・音楽）

・出汐湊

和歌の浦に 月の出汐の さすまに

よるなくたづの こゑぞさびしき（慈円）

・指南岡（しるべのおか）

尋ね行く 和哥の浦ちの 浜千鳥

あとあるかたに 道しるべせよ （紀叔氏朝臣）

尋ね行く。幻もがな伝にても。幻もがな伝にても。

魂の在所は其処としも。波路を分けて行く船の

灰に見えし島山の。草の仮寐の枕ゆふ。

常世の国に着きにけり常世の国に着きにけり 能『楊貴妃』

・「千鳥橋」

橋を渡るということについて

・尋芳径 花尋（と）ふ径：芳＝芳野＝吉野

・下折峯（しおりのみね）

吉野山 去年の枝折の 道かへて

まだ見ぬかたの 花を尋ねん（西行法師）

・峯花園（みねのはなぞの）

三吉野の 峯の花園風吹けば ふもとに曇る 春の夜の月（常磐井入道前太政大臣）

み吉野の 高嶺の 桜散りにけり 嵐も白き 春のあけぼの（後鳥羽院）

・雲香梅（うんかうばい）

谷風の ふき上げにたてる 梅の花 天津そらなる 雲や匂はん（定家）

梅の花 匂ひを移す 袖の上に 軒漏る月の 影ぞ争ふ（定家）

【3】古典ギリシャ語への扉 01

ギリシャ文字を覚えよう

文字	名称	音価
A, α	ἄλφα (アルファ)	a, a: 日本語の「ア」(長短両方存在)とほぼ同じ
B, β	βῆτα (ベータ)	b 日本語の「バ行」とほぼ同じ
Γ, γ	γάμμα (ガンマ)	g 主に日本語の「ガ行」とほぼ同じ
Δ, δ	δέλτα (デルタ)	d 日本語の「ダ行」とほぼ同じ
E, ε	ἐπίλον (エプシロン)	e 日本語の「エ」にほぼ同じ(常に短音)
Z, ζ	ζῆτα (ゼータ)	z 日本語の「ザ行」にほぼ同じ
H, η	ἦτα (エータ)	ε: 日本語の「エ」にほぼ同じ(常に長音)
Θ, θ	θῆτα (テータ)	th 息を吐きながら「タ行」だが、英語の th でも可
I, ι	ιώτα (イオータ)	i, i: 日本語の「イ」(長短両方存在)にほぼ同じ
K, κ	κάππα (カッパ)	k 日本語の「カ行」にほぼ同じ
Λ, λ	λάμδα (ラムダ)	l 英語の l のように舌を前歯に当てて発音
M, μ	μῦ (ミュー)	m 日本語の「マ行」にほぼ同じ
N, ν	νῦ (ニュー)	n 日本語の「ナ行」とほぼ同じ
Ξ, ξ	ξῖ (クシ)	ks 英語の x と同じ「クス」のような音
O, ο	ὄ μικρόν (オミクロン)	o 日本語の「オ」とほぼ同じ(常に短音)
Π, π	πί (ピ)	p 日本語の「パ行」とほぼ同じ
P, ρ	ῥῶ (ロー)	r 日本語の「ラ行」に似ているが巻き舌で発音
Σ, σ, ς	σίγμα (シグマ)	s 日本語の「サ行」にほぼ同じ ς については後述
T, τ	ταῦ (タウ)	t 日本語の「タ行」とほぼ同じ
Υ, υ	ὑ ψιλόν (ユプシロン)	y, y: 日本語の「ユ」の音に近い。「ウ」の口で「イ」を発音したような音
Φ, φ	φῖ (ピー)	ph 息を強く吐きながら「パ行」を発音、英語の f のように発音しても良い
X, χ	χῖ (キー)	ch 息を強く吐きながら「カ行」を発音、
Ψ, ψ	ψῖ (プシ)	ps 「プス」という発音にほぼ同じ
Ω, ω	ὦμέγα (オーメガ)	o: 日本語の「オー」とほぼ同じ(常に長音)

※「ou」はウー

アルファベットにする

《神の名前・人名》

Ἀθηνᾶ

Ἀπόλλων

Ἄρης

Δημήτηρ

Ἥφαιστος

Ἑρμῆς

Διώνυσος

Περσεφόνη

Μαρία

Ἀφροδίτη

Ἄρτεμις

Ζεὺς

Ἑστία

Ἥρα

Ποσειδῶν

Ἄιδης

Ἰησοῦς Χριστός

Παῦλος

《英語になったギリシャ語》

κορώνη

Ἀκαδημία

ἄστρον (星) + ναύτης (航海士)

βιβλία

καρδία

δῆμος(民衆)+κράτος(制度)

ἤλεκτρον (琥珀)

φαντασία (可視化)

μεταβολή (変える)

ἥρως

Πύθων (蛇)

πάνδημος (all people)

ἀκροβατέω

βακτηρία

βίος (生きる) + γράφω (書く)

κατά(下へ)+στρέφω(返す)

δράκων

ἐνέργεια (仕事、活動)

μαθηματικός (知識を好む)

γίγας (巨人族)

ψυχή(精神)+πάθος(感情、苦しみ)

φίλος(愛する)+σοφία(知恵)

ギリシャ語の文を読んでみる（3行目に注意）

En	archē	ēn	ho	Logos
1 Ἐν	ἀρχῇ	ἦν	ὁ	Λόγος ,
In [the]	beginning	was	the	Word

初めに言があった。

kai	ho	Logos	ēn	pros	ton	Theon
καὶ	ὁ	Λόγος	ἦν	πρὸς	τὸν	Θεόν ,
and	the	Word	was	with		God

言は神と共にあった。

kai	Theos	ēn	ho	Logos
καὶ	Θεὸς	ἦν	ὁ	Λόγος .
and	God	was	the	Word

言は神であった。

Houtos	ēn	en	archē	pros	ton	Theon
2 Οὗτος	ἦν	ἐν	ἀρχῇ	πρὸς	τὸν	Θεόν .
He	was	in [the]	beginning	with	-	God

この言は、初めに神と共にあった。